

感謝の気持ちでつかんだ金メダル

山口市

りが優勝という最高の結果を導 護者、地域の人の思いを込めた走 ムが掲げたテーマでした。 その言葉どおり、選手、監督、保 広島県58校の頂点に立ったチー

2009.12.19

たちには、感謝と恩返しの気持ち

いつも頭が下がる思いです。選手

を大切にし、競技に臨むように常々

づけました。 での東君の走りは、チームを勢い ト。エースが顔を揃えるこの区間 タスキをつなぎ、幸先の良いスター 東君がトップと10秒差の4位で 優勝を飾ったレースは、1区の

ばれる重圧を勝利への力に変えた

引地監督のもと、優勝候補と呼

その勢いを引き継ぎ、区間賞を取 前回大会も4区を走った山重君が、 を取る力走でトップに踊り出ると で順位を3位に上げました。 3区主将の下久保君が、区間賞 2区田中君も、区間2位の快走

然のことですが、駅伝は一人の力 学校に28秒の大差をつけ、栄光を 力だけでも勝てません。チームに では、勝てません。そして、選手の いて8年目となる、引地監督は「当 手にしました。 以下を寄せつけず、2位の高屋中 5区藤原君、6区桧垣君も2位 第五中学校の陸上駅伝部を率

「7年越しの心のリレー」

話しています」。

な言葉が聞かれました。「あの一番

その監督から練習のとき、こん

きました。

る言葉でした。

ですよ」。チームの強さが感じられ よく頑張って、クラブを続けたん 後ろを走っている生徒は、3年間

17回全国中学校駅伝大会

はありました。支えてくれた、多く り、「優勝候補というプレッシャー ました」と話します。 信じるという気持ちを持って走り と、自分たちのやってきたことを の人の期待に応えたいという思い 選手たち。 副主将の東君は県大会を振り返

を語ります。 のない走りをしたいです」と抱負 ムのみんなで嬉し涙を流せる悔い を胸に、日本一の目標に向け、チー 全国大会に向けては「感謝の気持ち 12月19日、山口市で開催される

せました。

る走りでレースの流れを引き寄

夢を果たせなかった先輩、支えて の全国大会で頂点をめざします。 くれた人たちの思いとともに、夢 (大会結果は、ページ中央で紹介) 一緒にクラブを続けてきた仲間、

対する保護者のバックアップには



チームの絆でつかんだ銀メダル

感がありました。 自分たちの力を出し切った充宝 だ中国中学校駅伝。男女のアベッ ルを獲得した選手たちの間には ク優勝はならなかったが、銀メダ 前回3位の悔しさを胸に挑ん

きさを物語る言葉でした。 田さん。この大会にかける思いの大 さい。ごめんなさい」と繰り返す持 げる電話が池田監督に。「ごめんな さんがインフルエンザのため、欠場 を余儀なくされたのです。欠場を告 た。アンカーを走る予定だった持田 予期せぬ出来事が起こっていまし しかし、そのチームには大会前日

、声をかけました。 大会当日、監督は選手たちに

り、粘り強い追い上げを見せ、花の のペースを乱さず、「残り800m 校に遅れをとる展開。しかし、自分 からが勝負」という監督の言葉どお 優勝候補の坂中学校と八本松中学 ムが一つになった瞬間でした。 って帰ろう」。 「区で見事、区間賞を獲得しました。 2区は、本調子には程遠い状態 選手たちの目の色が変わり、チ レースは、1区主将の中山さんが 「持田のためにも、メダルを持

練習を積み重ねた成果が実を結び、 されました。その悔しさをバネに ップでタスキを受けながら、逆転

起用された山田さん。レース前の の八本松中学校を抑え、2位でゴー なかったものの、優勝候補の一角 位を死守。7秒差でタスキを受け 続の区間賞をつかみました。 を意識した走りを見せ、3区間連 好調を維持し、コースの位置取り 区間賞を獲得。 た5区中本さんもトップには届か プを譲りますが、懸命な走りで2 4区和氣さんが坂中学校にトッ 続くは、距離の適性から3区に

を深めました。そのことは、優勝する 持田さんの欠場が決まり、彼女のた ルを駆け抜けました。 の走りを見せます」と力を込めました。 全国大会の出場は逃しましたが、個 めにも、という気持ちがチームの絆 た。支えてくれた人のためにも最高 対抗女子駅伝の県代表に選ばれまし へとして1月17日に開催の都道府県 とよりも価値があったと思います。 主将の中山さんは「レース直前に

とさらなる飛躍をめざします。 回こそは頂点をつかみたいです」 ますが、悔しい思いもあります。次 なって2位をつかんだ喜びもあり 池田監督は「選手たちが一つに

でレースに臨んだ吉岡さん。前回 の大会ではアンカー。11秒差のト